

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	北陸コカ・コーラボトリング株式会社					
代表者名	氏名	井辻 秀剛		役職名	代表取締役社長執行役員	
主たる事務所の所在地	富山県高岡市内島3550					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	5 2 飲食料品卸売業				
主たる事業の概要	清涼飲料水の販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2, 364	2, 050	2, 259		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4, 769		4, 555		
調整後排出量	t-CO ₂	4, 769	4, 450	4, 555		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	42		42		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	104				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023 年度～	2025 年度
報告対象年度	2023	年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	窓口で閲覧（土日祝日を除く 10:00～15:00）問合せ 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 経営サポート推進室 0766-31-1115
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

私たちは企業の活動が地域社会及び地球環境と深く関わっている事を認識し、企業と地域社会、消費者との相互信頼のもとに地域社会の環境保全を図りながら、自らも循環型社会の構築に向けて活力ある企業活動が展開出来るよう「良き企業市民」として行動します。

「私たちは、環境を大切にし活力ある地域社会に貢献します。」をスローガンに次の活動に取り組みます。

①北陸コカ・コーラボトリング㈱はコカ・コーラをはじめ清涼飲料製品の販売活動による環境に与える影響を認識し、資源の有効活用・節約・リサイクルを目的としたシステムの確立と継続的な改善を図ります。

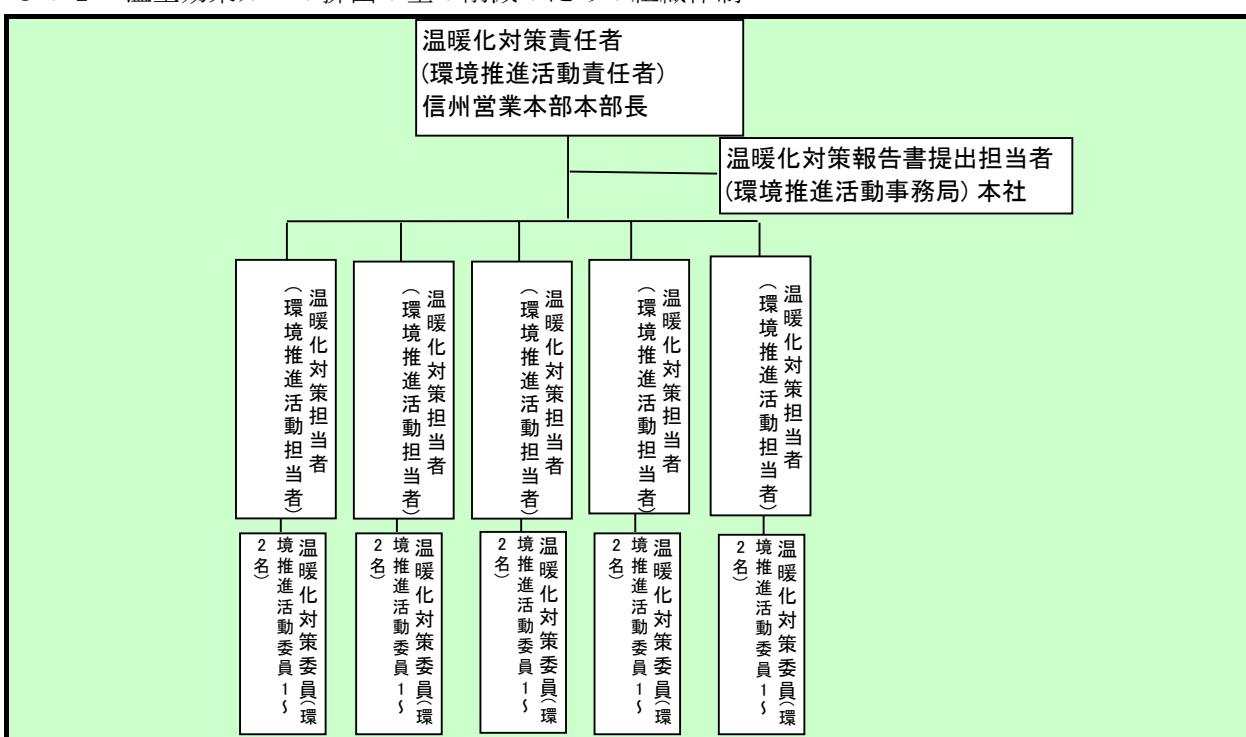
②販売関連資材及び事務用品その他の購入において、環境保全性・資源保護・再生化に優れた資材・製品の購入に努めます。

③企業活動、製品またはサービスの提供において、省資源・省エネルギー・環境保全に優れた技術・方法の導入に努めることにより資源の有効利用と廃棄物の減少を図ります。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2050	年度	削減目標	温室効果ガス排出量実質ゼロ
削減計画の概要	弊社を含む日本のコカ・コーラシステム全体で、気候変動緩和への貢献を目指し、温室効果ガス排出量を削減する活動に取り組んでいます。スコープ1(自らによる温室効果ガスの直接排出)、スコープ2(他社から供給された電気・熱の使用に伴う間接排出)、スコープ3(バリューチェーンで排出される温室効果ガス)に対しアプローチし、2015年対比での2030年までの削減目標としてスコープ1,2で50%、スコープ3で30%の削減を掲げています。					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action		<input type="checkbox"/> その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

環境対策会議を、各事業所においては月1回事業所月例会議において検討し、全社（富山、石川、福井、長野）で協議が必要と思われる案件については全体会議として隨時開催

様式1号 (総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号 (総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基 準 排 出 量	0	t-CO ₂			単位
	調整後排出量		t-CO ₂	基 準 原 単 位		
目 標 年 度	目 標 排 出 量		t-CO ₂	目 標 原 単 位		t-CO ₂ /
2025 年 度	目 標 削 減 率		%	目 標 削 減 率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排 出 量	0	t-CO ₂			単位
	削 減 率		%	原 単 位		
2023 年 度	調整後排 出 量		t-CO ₂	原 単 位 削 減 率		%
	削 減 率		%			
排 出 量 等 の 増 減 理 由						
第二年度	排 出 量		t-CO ₂			単位
	削 減 率		%	原 単 位		
2024 年 度	調整後排 出 量		t-CO ₂	原 単 位 削 減 率		%
	削 減 率		%			
排 出 量 等 の 増 減 理 由						
第三年度	排 出 量		t-CO ₂			単位
	削 減 率		%	原 単 位		
2025 年 度	調整後排 出 量		t-CO ₂	原 単 位 削 減 率		%
	削 減 率		%			
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基 準 排 出 量	104	t-CO ₂			単 位	
2022 年度	調整後排出量			基 準 原 単 位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目 標 排 出 量		t-CO ₂	目 標 原 单 位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目 標 削 減 率		%	目 標 削 減 率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単 位	
	調整後排出量			原 单 位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削 減 率		%	原 单 位 削 減 率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単 位	
	調整後排出量			原 单 位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削 減 率		%	原 单 位 削 減 率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単 位	
	調整後排出量			原 单 位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削 減 率		%	原 单 位 削 減 率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ~ II	I -1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I -2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量(t-CO ₂)	実施年度	推計削減量(t-CO ₂)
1	エネ起	一般管理事項	自動販売機のスケジュール管理	2023～2025	300	2023	
2	エネ起	その他	電力削減	2023～2025		2023	
3	エネ起	照明設備	照明器具及びランプの適正な選択	2023～2025		2023	
4	エネ起	照明設備	適正照度の管理	2023～2025		2023	
5	エネ起	その他	設定温度、湿度の適正化	2023～2025		2023	
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	8,934	4,769	8,774	4,555				
合計	8,934	4,769	8,774	4,555				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	16	16		
合計	16	16	0	0
自動車総数	42	42		
次世代自動車導入割合	38.1	38.1		

様式1号
(総括票)

14 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	本社(富山県高岡市)にてノーマイカーデーを実施 今後各事業所での実施についても調整中
自転車の利用促進	同上
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	勤務、営業活動を合理化(直行直帰、WEB商談等)し、自動車使用を控える
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	松本、更埴にロジスティクスセンターを置き、物流の合理化を推進 長野県内の3拠点を統合し、新松本ロジスティクスセンターを稼働予定(2024年10月～順次)

15 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
□ SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
□ TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
□ 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称		
□ グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
□ ZEB	の認証を取得している		
□ ディマンド・リスポンス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している		
□ その他			

16 自由記載欄 (特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

【水平リサイクルの拡大】 ・販売重量と同量のPETボトルを回収、リサイクル(ボトルtoボトル)することを目標に掲げ、自社グループ内の中間処理会社(GRNエコサイクル(株))及び長野県内の中間処理業者と連携し、廃棄物の削減に寄与していく ・100%リサイクルPETボトル素材(サスティナブル素材)を使用したPETボトル製品の提供
